

棺の影を背負って旅人は北を目指す。

— 月山、魂の故郷を捜して。 —

나그네는 길에서도  
쉬지 않는다.



製作・監督・脚本  
李長鎬

原作 李祭夏

撮影 朴承培

照明 金康一

音楽 金鐘九

出演 金明坤

李甫姬

高雪峰

寓玉珠

1987年製作／韓国

1時間45分／ビスタサイズ

配給 株式会社シネセンゾ

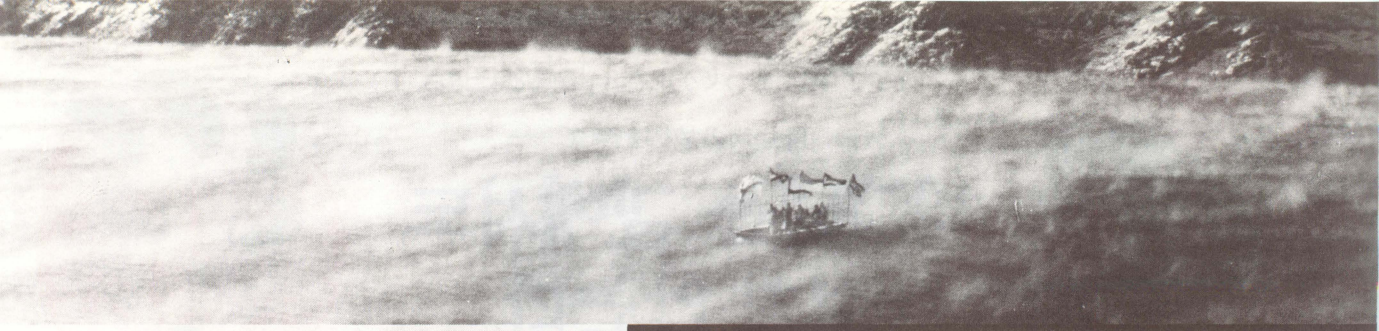
旅人は休まない

'87年 東京国際映画祭 国際批評家連盟賞受賞

'88年 ベルリン映画祭 カリガリ賞受賞

The Man  
with  
Three Coffins





# 나그네는 쉬지 않는다. 旅人は休まない

■解説 韓国語の「旅人」とは、故郷を出て目的地に行き着かぬまま彷徨し続ける人とその人生を意味する。原作は、現代文学の中で最も難解といわれる作家李祭夏(イジハ)の李箱文学賞受賞作(日本統治時代、自殺した天才詩人で小説家である李箱を記念して作られた韓国文学界最高の文学賞の一つ)。登場人物達は物語の中でひたすら別れのみを繰り返して成り遂げられるものはない。現代韓国に生きる人々の意識の中でややもすれば風化しつつある南北分断の心の痛みを、今再び問い直そうとする李長錫監督の姿勢を伺い知

ることができると。

また、この映画のもう一つの重要なモチーフとして、韓国の民俗信仰である巫堂(シャムニスム)がふんだんに取り入れられていることも、注目すべき点である。ラストシーンに登場する巫堂は、現代韓国きつてのムーダンである雷玉珠(ユンジュ)が特別出演しており、この民俗信仰こそが、民族の底流にある「祖国の分断状況を克服するための集団的無意識の意志」としての一つの可能性として描きだされた李監督自身は語っている。また、「旅人は休まない」の他にも'83年「馬虎宣言」(シカゴ国際映画祭優秀作品賞)、'84年「寡婦の舞」など話題作、問題作を振り続け、現在は新作を企画中である。

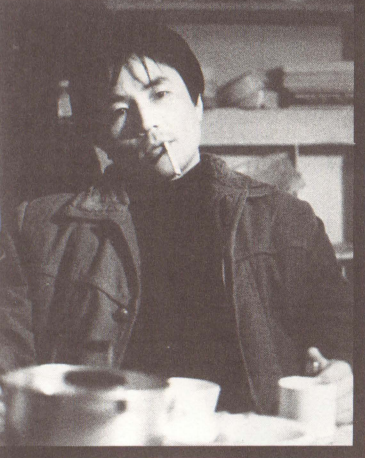
3年前に死んだ妻の遺骨を彼女の故郷に葬ってやるために旅に出る主人公を演じるのは劇団「アリラン」の主宰者で、「馬虎宣言」「寡婦の舞」で好演した金明坤で、彼は原作者である李祭夏自身の手による主題歌も唱っている。亡き妻、ゆきずりの娼婦、死前に休戦線の北にある故郷に帰れることを願う再身の実業家のめんどろを見て見る看

護婦という、一人3役の難しい役を演じわけているのは、今回李長錫作品が7本目となる李甫姫である。なお、この作品は、'87年東京国際映画祭にて国際批評家連盟賞受賞、'88年のベルリン国際映画祭でカリガリ賞を受賞。

■ストーリー 年の暮れようとしている冬のある日。下級公務員のスソクは押し入れの片隅に3年前に交通事故で死んだ妻の遺骨を見つけた。彼女は朝鮮戦争の戦災孤児で、今となってはこの出身の間人も明らかではない。スソクは妻の故郷を捜すという行方のない旅に出る。

バスを乗り継ぎ、やがて海の景色に心動かされた彼はムルチという村でバスを降りる。そこで彼は様々な人々に出会う。登山客、不意に死んでしまった的婦、重病の身で、ひたすら北の故郷に帰れることを願う老人、そしてその世話をする看護婦。スソクは妻の遺骨を故郷に葬ることもできず、また、老人も故郷に帰れることなく後を追って来た者達によってソウルに連れ戻されてしまう。

そして、スソクの前にいくつもの死の影が交錯する。そんな彼に看護婦はいうのだった「30の歳に、水辺で棺桶を3つ背負った男に出会う。それが前世の私の夫だ」と。一時は、心が通じ合い、明日への希望を夢見る看護婦とスソクだった……。



The Man with Three Coffins

## 10月中旬よりロードショー

特別鑑賞券1,200円絶賛発売中(当日一般1,500円・学生1,300円)

都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場他でお求めください。

| 連日    |      |      |      | ⑤のみレイトショー |
|-------|------|------|------|-----------|
| 12:00 | 2:20 | 4:40 | 7:00 | 夜 9:20    |

●自由席定員制・入替制

# CINE VIVANT

シネ・ヴィヴァン・六本木

地下鉄六本木駅下車1番出口 WAVE地下1階  
お問い合わせ03(403)6061